

日本労働年鑑 第50集 1980年版  
The Labour Year Book of Japan 1980

第二部 労働運動

XIV 政党

4 日本社会党

1 概況

百万党建設構想

一九七七年一二月、半年余の激しい党内抗争のすえ、ようやく誕生した飛鳥田体制も二年目を迎えた。全党員の八三%を超える信任を得た新委員長が、社会党再生の「決め手」として提起したのは「百万の党建設」の構想であった。この「百万党建設構想」にたいしては、社会主義協会系の党員からは「社会党の水まし」「社会党の改良主義化」などの批判的意見(たとえば『社会主義』七八年十一月増刊、あるいは『社会通信』号外「社会党『百万党建設の基本構想』批判」七八年八月参照)も少なくなかった。しかし、第四二回大会(七八年三月)で「百万党建設構想」の検討をふくむ運動方針が承認され、以後一年近く、社会党内ではこの問題をめぐっての討論がつづけられた。その中心となったのは中央執行委員会の諮問機関として設けられた「百万党建設委員会」で、第四三回大会までのあいだに四回の会合を重ねて問題点を検討、整理した。この間、七八年七月には各都道府県ごとに党員討論集會がおこなわれたほか、同九月には、「百万党建設」問題を中心議題の一つとした中央委員会が開かれた。さらに、一二月には「社会党・総評・地評党員代表者會議」が開かれるなど、階層別の集會も開催された。その結果、ようやく第四三回大会で、(1)党費の軽減(別項参照)(2)画一的任務付与の改善(3)班長制度の採用(4)集団加入制の採用、などの具体策をふくむ「百万党建設の基本構想」が決定された。「基本構想」は「当面の目標」として「一九七九年に必ず、党員を倍増する。この成果の上に二年目以降の年次計画を作成する」ことをうたっていた。しかし、現実には、この直後に、統一地方選がおこなわれたこともあって党員の拡大はずすまず、七九年四月現在で約四万三〇〇〇人と七七年末にくらべてもわずかではあるが減少したままである。

統一地方選で後退

しかも、この間におこなわれた統一地方選で、社会党は首長選、議員選を通じて、大きく後退した。とくに東京都知事選の候補者選考をめぐっては、飛鳥田委員長が総評の推す太田薫氏をいったんは文書まで公表して拒否しながら、最終的にはこれを受け入れる結果となった。これは選挙にマイナスの影響を及ぼしただけでなく、委員長の指導性が問われる事態となった。

革新のカナメとしての社会党を中心に全野党共闘をすすめるという、これまでの基本方針も、民社・公明両党の社会党離れ、「保守・中道」連合路線への転換によって、国会内でも、あるいは選挙闘争においても行き詰まりをみせている。しかも、社会党最大の支持母体である総評においても、富塚事務局長が、「社会党一党支持の見直し」を提唱するなど、社会党をとりまく情勢はきびしい。

役員

社会党の役員の任期は二年である。現在の役員は七七年一二月の第四一回大会続開大会で選出さ

れたもので、つぎのとおりである。

▽中央執行委員長 飛鳥田一雄(無派閥)、▽中央執行副委員長 下平正一(旧佐々木派)、北山愛郎(旧佐々木派)、阿具根登(無派閥)、▽書記長 多賀谷真稔(無派閥)、▽組織局長 森永栄悦(旧江田派)、▽労働局長 笠原昭男(旧佐々木派)、▽農漁民局長 山口太郎(旧佐々木派)、▽中小企業局長 長谷川正三(旧勝間田派)、▽地方政治局長 小新一平(旧流れの会)、▽婦人局長 渡辺道子(旧佐々木派)、▽国民運動局長 館林千里(旧勝間田派)、▽教宣局長 上田哲(無派閥)、▽国際局長 河上民雄(旧江田派)、▽機関紙局長 山本政弘(旧三月会)、▽総務局長 森下昭司(旧佐々木派)、▽青少年局長 深田肇(旧佐々木派)、▽国民生活局長 横山泰治(無派閥)、▽企画担当中執 曾我祐次(旧佐々木派)、大塚俊雄(旧三月会)、▽政審会長 武藤山治(旧勝間田派)、▽財務委員長 村山喜一(旧勝間田派)、▽選対委員長 宮之原貞光(旧勝間田派)、▽国対委員長 田辺誠(旧江田派)、▽委員長指名による無任所中執 山花貞夫(無派閥)、船橋成幸(無派閥)

## 成田前委員長死去

七九年三月九日、成田知己前委員長が急性白血病のため死去した。六六歳であった。成田氏は一九六二年から五年間河上、佐々木両委員長のもとで書記長をつとめ、六八年一〇月の第三一回大会で第六代委員長に就任、七七年一二月の第四一回大会で飛鳥田委員長に引きつぐまで九年二ヵ月在任した。成田氏の強い遺志によって党葬はおこなわれず、これにかわる「故成田前委員長とお別れの会」が三月一三日に開かれた。

また七八年八月二二日には党顧問、元左派社会党書記長の野溝勝氏が、同九月二七日には同じく党顧問で芦田内閣の労働大臣をつとめた加藤勤十氏が、同一二月二日には前高知市長、前革新市長会会長、坂本昭氏が死去した。

日本労働年鑑 第50集 1980年版

発行 1979年11月10日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月25日公開開始

---

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1980年版(第50集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

---

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)

---